
隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第 313 号

—環境・農業・食べ物など情報の交流誌—

2011.06.24（金）発行 山崎農業研究所&編集同人

<キーワード>

環境・農業・健康・食べ物などの情報提供、高齢者と若者、農村と都市の
交流ミニコミ誌。山崎農業研究所&『電子耕』編集同人が編集・発行。

<http://www.yamazaki-i.org>

*****発行部数 1190 部*****

【山崎農業研究所総会・総会記念シンポジウムのご案内】

◎日時：2011年7月23日（土）13：00～

◎場所：NTC インターナショナル（株）5F 会議室

東京都新宿区四谷3-5 不動産会館ビル5F

東京メトロ丸の内線四谷三丁目駅下車

A3 出口より四谷方面へ 50m

コンビニ「サンクス」隣

◎次第

1、総会：13：00～13：30

2、シンポジウム「東日本大震災と農業・農村」：13：30～17：00

1) 「農地、農業施設被害（仮）」…山崎農業研究所幹事・渡邊 博

2) 「福島—希望への道筋を探りながら」…大地を守る会・戎谷徹也

3) 「風評被害に翻弄されて—東海 JCO から福島原発事故（仮）」

……茨城県東海村／照沼商店代表・照沼勝浩

3、懇親会：17:30～

◎参加費：500 円（資料代等）、懇親会費：4000 円（予定）

※会員外の方の参加を歓迎いたします。

※会場選択の都合がございますので、7月4日ごろまでに出席のご予定を

事務局・益永までご連絡ください

TEL.03-3357-5916（益永） FAX.03-3357-3660

e-Mail: y.masunaga@ntc-c.co.jp

【NEWS】

辻信一さん（文化人類学者、ナマケモノ倶楽部世話人。明治学院大学教授）が
『自給再考—グローバリゼーションの次は何か』の書評を書いて下さいました。

グローバルの次は何？ ～卒業するゼミ生諸君へ

<http://www.sloth.gr.jp/tsuji/library/column64.html>

□ 目次 □-----

- <巻頭言> JA 女性部活動から女性理事の誕生 小井川敏子
<時代を見る眼> 再び“風評”と“風評被害”のこと 松坂正次郎
<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.125』発行されました
<編集後記> 金銭感覚がおかしくないか
<85歳からのメッセージ> 休載のお知らせ

<巻頭言> JA 女性部活動から女性理事の誕生

埼玉県の中央に位置する 9 市町村を管内に持つ「JA 埼玉中央」では 6 月 15 日の総代会で 3 人の女性理事が誕生しました。JA の女性部員 750 名の願いがかなったのです。

女性部では小学校への食育出前講座や消費者への味噌加工の指導、ヘルパー資格取得研修と地域の高齢者たちへのミニデイサービスの実施など盛りだくさんの事業をこなしてきました。

最近では、東日本大震災を受けてタオル 1 本運動や義援金送付とあわせて、節電を目的に「緑のカーテンコンクール」も実施しています。花苗などを直売している女性部会員宅で、ゴーヤの苗を仕立てて配布し、ゴーヤのカーテンをつくり競うものです。

JA では 30 人の理事に女性枠で 3 人追加する定款の改正をし、理事の推薦相談会を 3 月に開催。女性部では加工工場の代表者を含む 3 人の農業女性を推薦しました。こうして 6 月 15 日の総代会では 33 人の理事候補が全員承認され、3 人の女性理事は 3 つの委員会（総務・信用・経営経済）に配属になったのです。

農業は大事な産業と言われながら、高齢化と担い手不足の中、遊休農地が増加しています。そんななかで女性農業者の経営参画により何か明るい兆しをと、農業委員や JA 女性理事の登用が一つの運動となってきました。

家族経営のなかでこうした運動が理解され、また JA や地域でも女性が役員になることが徐々に浸透し、増加していることは嬉しい実態です。しっかり学び行動する女性農業者を応援していきたいと思っています。

小井川敏子

山崎農業研究所幹事・埼玉県吉見町在住

yamazaki@yamazaki-i.org

<時代を見る眼> 再び“風評”と“風評被害”のこと

山崎農研発行の「電子耕」No.312に、私の「この頃、眼につく“風評”被害のこと」（時代を見る眼）を掲載していただきました。また同農研発行の「耕 No.125」には、東日本大震災と農業・農村の対応が特集されました。私は、いわゆる“風評”および“風評被害”という日本語の持つ重さと拡がりに非常に関心を持っています。なぜなら、これらの言葉は今日、かつてない重味を背負っていると思っているからです。

“風評”という語を辞典でひくと、あっさりと「[風評] 世間の評判、うわさ、とりざた、風説」（新村出編『広辞苑』岩波書店）、「世間の評判・とりざた」（岩波「国語辞典」第4版）と誌されています。いわば、“噂”にすぎぬといった扱いです。しかし、今次の大震災が農業・林業・漁業とそれに携わってこられた農林水産業の従業者の方々、さらに広くは農林水産物の消費者・国民大衆に及ぼした影響は重大であり、わが国の政治・経済は、かつてないほどのダメージを余儀なくされています。

とくに今次は福島原発の大事故（セシウムなど有害放射能の拡散）こそが「風評」の原点であり、今なお農林水産業や大震災者の住居、生産手段、教育、医療など各般に「風評被害」を及ぼしており、それも、いつの時点になったら終息するかが計り切れないというのが現実でしょう。特に農林水産業は土壌（耕地・山林・宅地等）、河川・海洋に沿って生産・流通・消費がなされており、「風の便り」とか「噂」といった“軽口”で片付けられるものではないと存じます。

このような重大な問題について「風評」や、それによる「風評被害」は許してはならない“犯罪”であるのは言うまでもないでしょう。近所・お隣さんの立話であれば、「そう目くじら立てることもあるまい」とご隠居さんは言うかもしれません。しかし、国民の選良とされる政治家の皆さんには、ふわりふわりとした軽口発言は厳に慎んでいただきたいものです。

松坂正次郎

山崎農研会員 コラムニスト

yamazaki@yamazaki-i.org yamazaki@yamazaki-i.org

<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.125』発行されました

山崎農業研究所所報『耕 No.125』が発行されました。

今号では、東日本大震災を特集しています。

研究所ホームページから、目次を見ることと、記事の一部のダウンロード（無料）ができます。また、ご希望の方には雑誌を頒布（有料）いたします。

<http://www.yamazaki-i.org>

目次（抜粋）

《土と太陽と》（巻頭言）

東日本大震災と農業・農村復興……安富六郎

〔特集〕 どう向き合うか 東日本大震災

・被災地を歩いて一災害の被害者から復興の当事者へ……小泉浩郎

・東日本大震災による農地と農業インフラの被災状況……渡邊 博

・土壌の放射能汚染をどう考えるか

一現場での対応を中心に……編集部・森敏

・エネルギーは社会の根本問題……関 曠野

・震災から森と住まいの文化を考える……大内正伸

・大震災と住民自治……鳥越皓之

・「持続型地域」建設ビジョンをどう描くか……千賀裕太郎

・引き受けるものと選択するもの……宇根 豊

<編集後記> 金銭感覚がおかしくないか

福島第一原発ですすんでいる「メルトスルー」に対して地下ダムをつくるべきだと言われている。

使用済み核燃料が溶解し建物の底をつきやぶり、地下水汚染、ひいては海洋汚染につながる恐れがある。それに対して、30mの深さまでコンクリートの壁を打

ち込む。地下 30m には岩盤があり、この岩盤とコンクリートの壁（地下ダム）で汚染水の流出をふせぐというものだ。

費用は 1000 億円、ただし東京電力は株主総会が近く、このような多額の金額をおもてに出すことをためらっており、そのため地下ダムの建設も遅れているのだそうだ。

チャイナシンドロームが始まった？福島第一原発
—— TV 朝日の報道に反響広がる (News Spiral)

http://www.the-journal.jp/contents/newsspiral/2011/06/_tv.html

え？ 株主総会？ なんのこと？ 正直そう思った。福島第一原発事故の問題は一企業の問題ではとうの昔になくなっている。日本一国の問題でもなくなっている。ここまで迷惑をかけ、対処が遅れれば被害がいつそう深刻化するのには確実であるはずなのに株主総会での反応を気にするとは…

3.11 以降、金銭感覚がずれてきたような気がするときがある。被害総額〇兆円、復興に要する費用が△兆円などといわれてもどうにもピンとこない。しかし、テレビや新聞で目にする数字が大きくなったことだけはたしかである。そうしたなかで、1000 億円をどうのこうのという神経がしれない。

必要なものにはカネを使う、いらぬものには使わない。たったそれだけのことでないか。

2011 年 06 月 24 日

山崎農業研究所会員・田口 均

yamazaki@yamazaki-i.org

<85 歳からのメッセージ>

「85 歳のメッセージ」は、作者の都合により、今回はお休みとさせていただきます。

原田勉

<http://nazuna.com/tom/>

山崎農業研究所編・発行／農山漁村文化協会発売
『自給再考——グローバリゼーションの次は何か』
(発売：2008/11 定価：1,575 円)

http://shop.ruralnet.or.jp/b_no=01_4540082955/

たくさんの書評・紹介記事をいただいています。感謝・感謝です。

◎戒谷徹也さん (大地を守る会)

ブログ：大地を守る会のエビちゃん日記 “あんしんはしんどい”
「自給率」の前に、「自給」の意味を

<http://www.daichi.or.jp/blog/ebichan/2008/12/16/>

◎吉田太郎さん (長野県農業大学校教授、執筆者)

キューバ有機農業ブログ 自給再考の本が出ました

http://pub.ne.jp/cubaorganic/?entry_id=1822182

◎関良基さん (拓殖大学政経学部)

ブログ：代替案 書評：『自給再考 — グローバリゼーションの次は何か』

<http://blog.goo.ne.jp/reforestation/e/cb22650fa39384bdd22b61440fa81fa0>

◎大内正伸さん (イラストレーター・ライター)

ブログ：神流アトリエ日記 (3) 「書評『自給再考』」

<http://sun.ap.teacup.com/applet/tamarin/20081204/archive>

◎ブログ：本に溺りたい グローバリゼーションの次は何か

<http://renqing.cocolog-nifty.com/bookjunkie/2009/01/post-841e.html>

◎森川辰夫さん

NPO 法人 農と人とくらし研究センター／資料情報

<http://www.rircl.jp/shiryo.htm>

◎日本農業新聞／書評

(2009/01/19 評者：日本農業新聞編集委員 山田優)

<http://yamazaki-i.org/>

(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)

◎小谷敏さん (大妻女子大学)

日本海新聞コラム「潮流」／「自給」の方へ (2009/01/31)

<http://blog.goo.ne.jp/binbin1956/e/c895f6619b30ba7725e264b4daa75219>

◎白崎一裕さん ((株) 共に生きるために)

月刊とちぎ V ネットボランティア情報 vol.158／しみん文庫

<http://yamazaki-i.org/>

(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)

◎塩見直紀さん(半農半X研究所、執筆者)

ブログ：半農半Xという生き方～スローレボリューションでいこう！
立国集。

<http://plaza.rakuten.co.jp/simpleandmission/diary/200812270000/>

◎お願い「<読者の声>の投稿規定・メールの書き方」

- 1、件名(見出し)を必ず書いて下さい。「はじめまして」は省略して、言いたいことを具体的に。
- 2、氏名・ハンドルネームは、文末ではなく始めのほうに。
- 3、1回1テーマ、10行位に。
- 4、ホームページを持っている人は、文末にURLを。
- 5、JIS X0208 規格外の文字(機種依存文字)のチェックを。

<http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/networks/check/jisx0208.html>

インターネットで使えない丸数字や半角カタカナ、括弧入り略号などは文字化けの原因です。

◎投稿アドレス変更のお知らせ

電子耕への投稿アドレスは、117号から発行人の変更に伴い、
yamazaki@yamazaki-i.org

となっております。投稿される方はこちらのアドレスをお願いします。

次回 314号の締め切りは07月04日、発行は07月07日の予定です。

★『メールマガジンの楽しみ方』発売中

書名：岩波アクティブ新書 45 『メールマガジンの楽しみ方』

著者：原田 勉 定価：735円 発行日：2002年10月4日

発行所：岩波書店 ISBN4-00-700045-X

まえがき・目次・著者紹介・注文方法はこちら

<http://nazuna.com/tom/book.html>

<本誌記事の無断転載を禁じます>

隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第 313 号

最新号・バックナンバーの閲覧

<http://archive.mag2.com/0000014872/index.html>

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

購読申し込み／解除案内

<http://www.yamazaki-i.org>

2011.06.24（金）発行 山崎農業研究所&編集同人

<mailto:yamazaki@yamazaki-i.org>

***** ここまで『電子耕』 *****